



学校法人 群馬パース学園 学園だより

群馬パース大学

■高崎キャンパス
〒370-0044
群馬県高崎市岩押町5-4
TEL 027-310-7766(代)
FAX 027-310-7767

■高山キャンパス
〒377-0702
群馬県吾妻郡高山村中山6859-251
TEL 0279-63-3366(代)
FAX 0279-63-3477

将来構想プロジェクトの 発足にあたって



理事長
樋口 建介

「理解されるのぞみもとおく
部屋を出る
ほかの類は 静かに赤し」
無から有へ。私の人生は、常に「無から有」への挑戦です。前出の歌は、昭和52年、私の最初の事業である病院設立に対する困難さを、母とも言える神戸照子先生が詠んだものです。このときから、約30年が経ち、平成16年3月、群馬パース学園の評議員会及び理事事に「群馬パース学園中期・長期計画」を提案し、了承されました。今後20年の計画です。学校法人「ほたか会」を合併し、介護福祉養成の福祉学科として増学科、群馬パース大学大学院開設、薬学部開設等を盛り込んだ計画です。群馬パース大学は教育の柱を「地域ケア」に置き、経営方針は「美しく、すこやかに、元気で老いる」社会の実現に寄与することであり、「利用者の声を聴くこと」です。方針の具現化は、大学では、地域で必要とされる「専門職」を養成し、臨床の場に送り出すことです。そして今、臨床の場で求められていることは、在宅での看護・介護・リハビリテーションの提供、多角的な視野で提供できるケアマネジメント能力を持つ専門職です。大学では基本的な専門知識を身につけ、大学院では、経営を学び様々な見識を持つための横断的なカリキュラムが組めるよう研

究プロジェクトを発足しました。平成18年度に予定されている医療制度改革は、健康増進計画、医療計画及び介護保険事業支援計画の見直しと医療費適正化計画制度導入など抜本的なものです。医療状況は、専門職の職場環境を大きく変化させることになりました。今後は、在宅で提供されるサービスに重点が置かれます。こうした専門職を廻る変化を見据えながら学校法人の中期・長期計画を提案いたしました。計画推進のため「将来構想プロジェクト」を発足し、平成21年3月には、プロジェクトの目的である「地域に貢献する大学」を完成させたいと思います。医療・福祉・保健・教育の循環を実現させ、昭和52年に痛感した困難さが「嘘」のように思える日を夢見て、学校法人の将来構想を推進してゆきます。

本年も皆様の声をお聞きながら職員、学生、保護者・地域の皆様そして大学に関わるすべての人と共に、力強く前へ前へと進みたいと思っております。
本年もよろしくお願ひいたします。
万 両



万 両

国家試験を前に

学長 小林 功

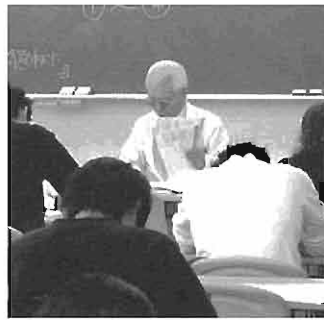
皆さん、いよいよ卒業の日が近づいて来ました。御家族の皆様も、さぞ心待ちしていることでしょう。

さて、本学を卒業しますと、皆さんは看護師や保健師として、また理学療法士として、医療・福祉の専門職につき、社会で幅広く活躍することになります。そのためには国家試験に合格しなければなりません。このことに関して、三つの事項について私の意見を述べてみたいと思います。

1、まず国家試験に合格しなければなりません。

私は医師国家試験に昭和37年に合格しました。正式な医師免許証の日付けは、この年の7月10日でした。よく覚えていますが、皆さんも、それぞれの専門職の国家試験をパスしなければ、専門職として働けないのです。昔から、医学部を卒業しても、国家試験に合格しなければ、タダの人(つまり医学士であっても医師ではない)と言われたものです。どうか、目前に迫った国家試験を目指して、頑張ってください。

2、国家試験は資格試験であって選抜試験ではない。
本学に入学するに際し、多くの



志望者の中から、諸君は選ばれてきたのです。しかし、国家試験は定員が決められているのではなく、諸君がそれぞれの専門職としての基礎知識があるかどうかを判定する試験なのです。限られた学園生活で学んだ専門職としての知識や実習で得た体験を通じて、第一線でやっていけるかどうかの基本的な事項が要求されるのです。もう一度、初心に戻りチェックして下さい。

3、過去に出題された問題(過去問)の点検を怠らないこと。

実際には、過去問を解き、正解を覚えること。ほとんどが教科書から出題されているのです。身辺に使い慣れた教科書を置き、さあ残された期間、これから頑張りましょう!

公開講座 「三世代が共に生きる」 研究委員会委員長 青山 正 征

群馬パース大学学園祭「流星祭」の第一日、10月29日(土)1時30分から恒例の公開講座が行われた。講師は当大学保健学部長齋藤和子先生であった。先生は東大医学部衛生看護学のご卒業で、精神科の研究生となられ精神障害者の精神衛生から、徐々に高齢者の精神衛生にこの研究の幅を広められ国立精神衛生研究所の老人精神衛生部老化度研究室長をやられ、その後千葉大学看護学教授に転進された方である。



まず「日本の世界におけるトピックの長寿国」から話を始められ、医療の進歩の変遷、日本の保健医療行政の成功、国民の健康的な生活への努力などを挙げられ「老年期の心の問題」として、たとえ子や孫と同居していても「同居の中の孤独感」があるのだということを描き出された。介護の問題では男性介護者も女性介護者にひけをとらず立派にこなしている、男性介護者は必要なのだとして述べられ「老年期を楽しく生きる」ためには「病気や障害に支配されず、生き生き暮らす」ことが重要で、「生きる姿勢、生き方」が問題で社会に溶け込み、社会人として生きることが、さらに日常の心構えとして「健康・疾病の自己管理」が大切だと話された。最後に「きれいな水、澄んだ空気、見慣れた風景、親しんだ人々の中で天寿を全うできたら幸せな生と言えるでしょう。」と締めくくられた。参加者は37名、地域住民の方3名、学生13名、教職員およびその家族21名であり、地域住民の方の質疑が活発で、盛り上がったのは従来と異なり出色であった。研究委員会での反省点として、1、学生の参加が少なかったのは残念であった。学園祭の学生の役割と重なることが問題であるが、学生側の意識の問題もあり、今後企画の段階から学園祭実行委員会も関与していくなどの改善の余地があると考えられた。

2、さらなる効率的な広報が必要だろう。広報がやや遅れたこと、地域の範囲が狭かったことの見解が出された。今後は事務局(総務課)と協力し、より広い広報活動を目指すことになった。

3、地域の人たちの意見としてもっと地域に入り込んで、公開講座をしてもらいたいという要望があった。今後積極的に考えなければならぬ問題と考える。

群馬パース大学…この1年…

高崎キャンパス 長内 藤和 美

今年4月に、保健

科学部看護学科77名、理学療法学科53名計130名の一期生を迎え、群馬パース大学が始動した。始動して初めてわかる問題も少なからずあり、学長・学部長・学科長・教授会、事務局長、事務部長に相談助言を仰ぎつつ、教員4名、事務局3名、保健兼事務補助1名で、それらに一つ一つ対処しながら、学生たちの学習と学校生活を支えてきた。学生たちは月曜から金曜までほとんど隙間のない時間割をこなしながら、友情をはぐくんでいる。新入生歓迎スポーツ大会、学園祭など高山キャンパスで、短期大学の上級生と共にする行事にも参加させて頂いた。一方、9月に、1名の学生を交通事故で失うという不幸にも見舞われた。住宅地の真ん中に在る高崎キャンパスでは部活動や運動をする場を確保してやれないなど、改善の難しい課題もなおあるが、学年末に向け、学生たちの学習成果が上がり、全員が元気で進級できるように高崎キャンパス教職員一同力を尽くしたい。

「カナダ」の大学生 イングラム・エミリーさん来校

事務部長 金谷 春代

7月12日
(水)、カナダモントリオールから、マックギル大学医学部生のエミリーさんが、群馬バス大学に来校しました。マックギル大学は、カナダのケベック州モントリオールにあり、22の学部で3000以上のプログラム



のプログラムを教えている大学です。留学生が多く国際的な雰囲気のある大学です。群馬バス大学では、将来に向けてマックギル大学との交流を考えています。

エミリーさんは、26歳で医学を目指す決意をして見事にマックギル大学医学部に合格しました。日本人の母を持つエミリーさんは、日本語と英語・フランス語を話し、私達がマックギル大学を訪問した際には、ご一家でお世話をしてくださいました。今回は東京に住むおばあ様に会いに来たところを、群馬バス大学学生との交流の一環として、英語でスピーチをしていただきました。20分〜30分位のスピーチでしたが、1年生は、ほ

ぼ理解できたのではないかと(?) 思います。
昼食は、てんぶら屋さんで、目の前で揚げてもらった「てんぶら」に大満足の様子でした。
とてもお金持ちのお嬢さんでしたが、質素で向学心があり、礼儀を身につけた素直な女性でした。
モントリオールは、漂とした空気に包まれたような雰囲気のある街です。いつかマックギル大学に学ぶバースの学生が闊歩していることを描いて、翌日エミリーさんを送りました。

災害時生活体験演習

看護学科 一年 川井 綾子



私は、昨年、新潟県中越地震を経験しました。
避難中、義足のお年寄りに会い、おぼつかない足取りで必死に避難されていたので、私は傍らに行って話しかけたのですが、どう介助したらその方が楽になるかわからず、肩を貸すことしかできませんでした。

災害時生活体験では、高齢者や片麻痺の体験をもし、それらの人々が少し歩くのも大変なことや、階段の上り下り
が難しいことを身をもって知りました。災害時、元気で自由に身体を動かすことのできる私たちは、お年寄りなど不自由な人の介助を率先してしなければなりません。また、いろいろな被災食を食べる経験をしたが、それは、日々の生活がいかに豊かであるかを痛感する経験となりました。

野外演習

生活環境論学外演習

理学療法学科 三年 金子 知 紘



今回は私達にこのような機会を与えて下さりましてありがとうございます。
さて、このたびの「高山村めぐり」では、障害者・高齢者の立場で移動することにより都市の構造的問題や、交通困難者の外出の障害因子をさぐるという目的の下に行われ、車椅子に乗る者、インスタントシニアを各一人ずつ班から選び実習を行いました。

実際に歩いてみると、普段は全く気にならない路面の工事の跡や、側溝の段差や隙間、路面のわずかな傾斜が大きな障害となっている事を知ると共に、この村を再認識し、本業である理学療法士としての目を養う良い機会となったと実感しています。

オープンキャンパスを終えて 学生課

平成18年度の受験生を対象としたオープンキャンパス及び個別受験相談会を7月9日から始めて、11月19日に終了しました。
この間オープンキャンパスは、高山校において三回実施し、272名の参加を得ました。
また、高崎校で実施した四回の個別受験相談会には、120名が参加してくれました。
本学としては、特にベテラン教員による個人面談と体験実習を重視して「足を運んでくれた受験生」に対しては懇切丁寧な対応に努めてまいりました。

参加者にお願したアンケート調査においては、自然環境に恵まれ、各施設がきれいで教材も充実していて勉強するには最適であると評価されています。また、個人相談に応じた教員や、体験実習に係った教員、支援してくれた在学生の態度が明るく親切であったと好感をもって回答してくれました。



阪神淡路大震災から新潟へ

～震災の体験を被害者に受け継いでゆくため～

看護学科教授 矢嶋和江



当大学が例年行っている野外救護演習に、今年は消防レスキューの方々にも多くの参加があった。次回は地域の人たちに参加を促し、徐々に地域連携につながる活動を展開できることを期待している。

「文明が進むに従って、災害は進化する」とは寺田寅彦の言葉である。人間は「自然を征服しよう」として野心を生じた。その結果、文明は進歩したが「損害の程度も高まって行く」ことに警告を発したものである。

この様な人々に傷を癒し、介抱し疲れた心を癒すなどの手を差し伸べてきた人々の存在がある。それは宗教者であり、医師や看護職たちである。このように保健医療職に求められる災害時活動とは被災者に対する精神的、社会的側面からのアプローチである。

「文明が進むに従って、災害は進化する」とは寺田寅彦の言葉である。人間は「自然を征服しよう」として野心を生じた。その結果、文明は進歩したが「損害の程度も高まって行く」ことに警告を発したものである。

「自衛消防訓練」を終えて

―あなたです 火のあるくらしの見はり役―



消防法に基づく自衛消防訓練を高山キャンパスは、11月25日に寮生委員会が避難訓練を自主的にを行いました。また、高崎キャンパスでは、11月29日に教職員が計画して総合的な訓練が行われました。高崎キャンパスでは、この種の訓練は初めてであり、管轄する高崎東消防署から訓練指導のため四名の署員の派遣を受けた。

ヤング被害防止セミナー

高崎キャンパス事務長 二関 淳

「甘い誘いにご用心。うまい話には裏がある。」誰もが解っていることだろうが、昨年度群馬県内の消費生活センターに寄せられた消費生活に関する相談は5万3千件にのぼり、年々増加の傾向にあるという。



「自分だけに甘い話、うまい話はない。」ことを認識し、迷ったり、被害にあったと感じた時には、友人、家族、専門機関に相談すること。又、相談する勇気を持つことが大切であると強調された。本学学生が、悪徳商法や学生ローンなどによる被害にあわないことを祈りつつ、もし被害にあったと思われる際に、我々、教職員にも気軽に相談できるような対応をしていきたいと考える。

本学における実習について

看護学科

臨地実習においては、対象の要求に応じ、看護の実践できる基礎能力を養うことを目的としております。具体的には対象の健康問題に対する反応を理解し、看護援助の必要性を認識しその看護ケアとその効果を評価するための方法を学ぶことを目標とします。

実習を終えて



理学療法学科
3年 山岡 麗人

理学療法士教育課程での臨床実習は一つのドラマです。壮絶なドラマです。陽気なあいとも、がんばり屋のあの子も、すべての仲間が語り尽くせぬ幾千もの瞬間を胸に秘めています。たったひとり、眠れない夜をレポート作成と課題に追われ、また朝が来る。2年間の集大成をすべてぶつけるには、あまりにも過酷な訓練だったのかもしれない。しかし、その代償は甚大で、セラピストへの大きな大きな一歩を踏み出すことができました。

実習が始まった頃には、期待より不安や緊張のほうが大きかった。実際の援助でも、思うように動けず、自分には向いていないのかもしれない、と落ち込むこともあった。しかし、笑顔で「ありがとう」と声をかけてくれる患者様や、近くで励ましてくれる先生や友人に支えられ、前向きな気持ちで実習に臨むことができた。そして、援助を通して患者様と一緒に苦しみや喜びを共感し、看護師という仕事の魅力を改めて実感することができた。



看護学科
3年 唐沢 千寿子

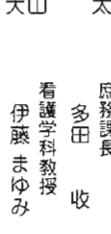
苦難が待ち受ける医療社会に立ち向かう勇気と希望。すべては患者さんから学ばせて頂きました。同胞諸君。お疲れ様でした。涙の数だけ僕は輝いた！



看護学科
地域専攻 香菜 保莉

きた。実習を終え、自分の看護観というものがより明確なものになった。相手を尊重し思いやる気持ちを忘れず、新たな決意を胸に、通過点の一つである国家試験合格に向けてがんばっていきましょう。

理論を実践で適用する最初の場として、家庭訪問実習を体験しました。訪問先で出会った初めての子育てをしているお母さんは、誰かに頼りたくても相談に乗ってくれない人がいないと話し、様々な不安を抱えていました。家庭に訪問して話を聴き、一緒に解決策を見出すことは、母親にとって最大の援助であると思います。母親同士の交流が少ないという地域共通の課題も見い出すことができました。保健師は家庭訪問を通して地域全体を把握し、地域看護活動に活かしていく必要があると実感しました。



〈校医の委嘱〉

〈採用〉

〈退職〉

学内人事

〈高崎キャンパス長〉

〈採用〉

大学を影で支える人々

大洲照雄さん



実習中は毎朝6時50分に多勢の学生を乗せて前橋方面の実習施設へ送り、夕方迎えに行きます。学生は大洲さんとの会話を楽しんでおります。更に日曜日には寮生の買物のためバスの運転に出勤しております。

関 隆二さん



実習中は毎朝6時50分に少人数の学生を乗せて県西部の実習施設への送迎をし、日中は校内の草花の育成、建物の維持管理、夜は各建物出入口の施錠をしております。365日フル回転です。

生方文夫さん



この広い構内の夏草を刈り、枝打ち、後片付けを二人であたり、キャンパスはいつも四季おりおりの美しい顔をみせてくれております。大変な仕事のかたわら、最近短歌に挑戦しております。所属は「ほたか病院」です。

佐藤みよ子さん



建物内の清掃にあたりおられる中の一人「佐藤みよ子さん」は地元在住の方です。大学の玄関には豪華に、化粧室にはそと「輪差し」に自宅に咲くお花を飾ってくださいしております。顔写真は「恥かしいから」と撮らせていただけませんでした。

理学療法科
教授 武田 淳史

短期大学
助手 大山 太

庶務課長 多田 收
看護学科教授 伊藤まゆみ

看護学科
教授 内藤 和美

学生課
金井 康志

流星祭

広場



短期大学が大学になって初のPAZ流星祭☆☆例年よりたくさんの学生や一般の方々が参加してくれました!

模擬店はもちろん、ミスコン・女装・フットサル交流試合・軽音ライブ・星空の下でのキャンプファイヤーなど、どれもかなり盛り上がりました!

医療系として、ユニセフ募金や献血も実施しました! また、看護・理学療法・地域専攻各学科の体験ができるスタンプラリーには、予想以上の人が参加してくれました! 流星祭を通して、自分の健康や身近な医療に関心を持っていただけたら幸いです☆☆学生のみならず、大自然に囲まれた高山PAZでしかできないことも多々あります! これからも、もっともっとPAZを盛り上げていきましょう!!



流星祭実行委員長 成田あゆみ

第16回 群馬県私立大学スポーツ大会



男子3位の成績を残すことができました。今後ともよろしくお願いたします。

近藤昭彦 第16回県内私立大学スポーツ大会(上毛新聞社後援)が、10月8日、9日まで、共愛学園前橋国際大学など5会場で行われ、学生1220人が熱戦を繰り広げました。今回行われた競技は、バレー、バスケ、テニス、バドミントン、ソフト、フットサルの6種目であり17校の参加がありました。本学は、テニス以外の5種目男女90名が参加し、健闘いたしました。皆様のご声援のおかげをもちまして、フットサル男子3連覇、ソフト男子3位、バドミントン

編集後記

今回は、学生の協力も得て紙面を構成致しました。

時節柄、寒さ厳しいときですが風邪などひかず、せまりくる国家試験にのぞみ「全員合格」を願いたいと思います。

皆様からのご意見・ご感想お待ちしております。

〒377-0702
群馬県吾妻郡高山村中山6859-251
TEL 0279-63-3366(代)
FAX 0279-63-3477
URL <http://www.paz.ac.jp/>
E-mail paz@paz.ac.jp

卒業式のお知らせ

平成17年度の卒業式の日程が、下記のとおり決定しました。詳細は確定次第お知らせします。

記

日時 平成18年3月9日(木) 10時30分より

場所 ホテルメトロポリタン高崎(高崎市八島町222)
TEL 027-325-3311

財務書類の公開について

私立学校法の一部改正により、学校法人の各種財務書類の作成等が義務付けられました。詳細につきましては、事務局総務課(または会計課)までお問合せください。尚、本学ホームページにおいても掲載中です。

<http://www.paz.ac.jp/zaimu.htm>